

報告

ノロウイルス食中毒予防強化期間 支部・支所の取り組み

目指せ！ノロウイルス予防のプロー現場で活かせる勉強会ー

札幌市支部より

「ノロウイルス食中毒予防強化期間」事業では、啓発につながらなければ、「何もしていないのと同じこと」になるので、どのような内容の事業を行うのが良いのだろうかと毎年頭を悩ませます。

今年は、「勉強会にはコロナ前と比べてどれくらい人が集まるのだろうか」という実験も兼ねて、賛助会員および食品衛生指導員である(株)ダスキンの清水 充氏に講師をお願いし、「目指せ！ノロウイルス予防のプロー現場で活かせる勉強会ー」と題しまして、久しぶりに集合形式による勉強会を3回開催することにしました。(すべて同じプログラムです)

内容は、はじめに、10題の「理解度確認テスト」(○×解答形式+筆記解答形式各5題の合計10題)を行い、ノロウイルスについてどれだけ理解ができているのかを確認していただきました。その後、① 家庭(日常生活)でのノロウイルス対策(従事者の健康管理)、② ノロウイルス食中毒事故発生の概要、③ 嘔吐物処理の手順と注意事項(家庭での対応含む)、④ 次亜塩素酸ナトリウム溶液の作り方について、の順で解説を行いました。

座席も、くじ引きで座っていただくことで「エンタメ性」をもたせ、また、講師が席番号の札を引いてどんどん指名することで、参加者が「お客さん状態」にならないように工夫しました。

今回、各回とも50名ほどの参加がありましたが、今後の課題は、人手不足が深刻化している現代の、集合形式での勉強会の開催方法、参加者のモチベーションの伝達情報のツール提供などを考えることだと思います。

また、事業者の体調管理は「たぶん大丈夫」と、“博打的”に判断することがないよう、強く啓発する必要がありますということも改めて感じました。

次年度はさらに良い事業が行えるよう企画立案していきたいと思っています。



勉強会の様子

「安佐南区民祭り」出前手洗い教室

広島市安佐南支所より

広島市安佐南支所ではノロウイルス食中毒予防の啓発として、毎年5月の連休に開催されている「安佐南区民祭り」へ手洗い教室を出展し、多くの来場者に正しい手洗いの重要性を伝える活動を行いました。安佐南区民祭りは毎年大勢の方が訪れ、特に小さなお子さまを連れたファミリー層が多いことから、食中毒予防を普及するうえで絶好の機会となります。また、会場には飲食店ブースも多く並び、衛生意識の向上がより求められる環境でもありました。

当日は「手洗いマイスター」を中心に、“正しい手洗い”をわかりやすく実践指導しました。出展は午後3時までの予定でしたが、午前中のうちに早くも参加予定数に達し、手洗いへの関心の高さを改めて実感しました。

参加者には手洗いの手順をまとめたチラシと販促品を配布し、たいへん喜ばれました。特に小さなお子さまをもつ保護者の方からは「家庭でも実践したい」といった声が多く寄せられ、予防意識の向上につながったと感じています。販促品は早い段階で品切れとなりましたが、その後も手洗いを学びたい方が多数訪れ、啓発活動の手応えを強く感じました。

また当支部では、普段から「手洗い教室」を積極的に実施しており、安佐南区内の全児童館での開催に加え、企業向けの教室にも取り組んでいます。今回の活動を通じ、地域全体で衛生意識を高めていくことの重要性を再認識しました。現在の活

な活動に加え、今後もこれまで以上に、地域に寄り添った食中毒予防に向けた取り組みを継続・強化してまいりたいと考えています。



手洗いチェッカーで洗い残しを確認



手洗いマイスターが正しい手洗いを実践指導